

はがす、めくる、いろいろできる! のり殺し(のり面カット印刷)

話題ののり殺し加工とは

専用透明インク

タック紙のセパレーターと表面紙を一時的に剥離し、のり面にシリコーンを含むインクを印刷し、再度貼り合わせます。のり面印刷した部分のはがりが付着しません。基本的にはラベル面積の半分以上の場合は確実に加工が行えないとしていますが、実際はラベルの形状、のり殺しの位置、のりの種類、印刷の出し方向などに大きく左右されます。加工の可否が推測しづらい場合は、実際に印刷する機械で、試作を行う必要があります。



より効率効果的!

線引きのり殺し

印刷流れ方向と平行に連続して行うのり殺しで、のりの線引き、のりテープ挿入等で代用が可能です。

のり殺し部分



印刷流れ方向に平行

のり面1色刷り

パターンのり殺し

流れ方向に連続していないパター的な加工です。

のり殺し部分



のり面印刷

のり殺しの要領でのり面に印刷を行います。実際に受注したものでは『当たり』、『はずれ』などとのり面に印刷し、くじの機能を持たせたものや、シメジのラベルで調理方法をのり面に記載したものがあります。

今注目!
のり殺しの要領です



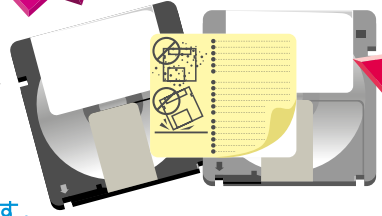
くじ付きラベルに

レシピ等の情報に

説明書、グラデーションetc. クリア面を生かしたビジュアル効果に

セパ裏面印刷

のり殺しとは異なり、表面紙とセパレーターを剥離することなくセパレーターの裏面に直接印刷を行います。センサーマークの印字もこれに含まれます。セパレーターの裏面には、ポリエチレンラミをしたものもあり、インクの密着性が著しく低下する場合がありますので注意してください。



用途、使用例 取り扱い等の 注意事項